

自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール（グループホーム青空倶楽部筒井館ユニット1）

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
I. 理念・安心と安全に基づく運営							
1	理念の共有と実践	地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	法人理念を掲示するとともに、職員ミーティングの場で確認周知し、物事を決定する際は理念に基づいた考え方で進められるようにしている。			地域社会の一員として自分らしく生涯を過ごせるよう支援していく。
2	事業所と地域とのつきあい	事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	数年ぶりに事業所の催しを開催し地域住民等を招いたが、参加者数も伸び悩む結果となった。	近隣へのチラシ配布等での案内はしているが、近隣商店等へのチラシ掲示や町内の回覧板での周知案内も検討できるのではないかな。		今後もより地域にとって身近な存在となれるよう、継続的に交流を図る事ができる機会を作りあげていきたい。
3	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	主に事業所の運営状況や活動内容等について検討し、アドバイス等を受けているが、地域の状況等についての情報交換も行いながら、地域に貢献できる事業所として活動できるようにしたい。	固定したメンバーでの会議となりがちである為、様々な参加者を募り情報交換ができる場として機能するようになれば良いのではないかな。		日頃からの地域交流を大切にしながら、より多くの方々に運営推進会議へ参加いただけるよう努めていく。
4	市町村との連携	市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	市担当者への書類提出時等に活動状況の報告や相談をしながら連携に努めている。	普段からの行政との連携や、問題発生時には速やかに報告し相談できるよう関係を構築する事が重要ではないかな。		今後も市や地域包括支援センター等との連携しながら適切な運営につなげていきたい。
5	身体拘束をしないケアの実践	代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	法人内の「身体拘束適正化委員会」にて具体的な予防策や対応策についての検討を行うとともに、定期的な研修を実施し、身体拘束のない事業所づくりに努めている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	今後も定期的な研修会で理解を深めつつ、職場内での具体的な事例検討や、運営推進会議などでの意見交換を行いながら適切なケアを実践できるようにしていく。
6	虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	法人内の「虐待防止委員会」にて具体的な予防策や対応策についての検討を行うとともに、定期的な研修を実施し、虐待のない事業所づくりに努めている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員のメンタルヘルスにも配慮しながら、虐待が発生しないような職場環境を構築していく。
7	権利擁護に関する制度の理解と活用	管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	成年後見制度や権利擁護についての研修会に参加し学ぶ機会を設けている。また法人内に成年後見相談所を開設しており相談所のスタッフ			成年後見制度を利用されている利用者もおり、引き続き制度について理解を深められるよう取り組んでいきたい。

				からも情報を得ながら理解に努めている。			
8	契約に関する説明と納得	契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	契約時は、重要事項説明書を基に、サービス内容や利用料金等を文書と口頭で具体的に説明し、理解して頂いた上で契約を行なっている。			解約、長期入院、支援方法等、ご家族の不安や疑問には、その都度対応し、不安を軽減しご納得頂ける様努めている。
9	運営に関する利用者、家族等意見の反映	利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input checked="" type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	毎月、各ご家族に書面や口頭にて状況を報告し意見や要望を頂けるよう努めている。また、定期的な介護計画作成時には、対話を重ね意見や要望を取り入れたものとなるよう努めている。		<input type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input checked="" type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	今後は満足度調査(アンケート)等の実施も検討し、様々な意見や要望を取り入れられるようにする。
10	運営に関する職員意見の反映	代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	職員全体でのミーティングや個別の面談の機会を設け意見や提案に耳を傾けるようにしている。			運営に対しての職員の小さな気付きや意見を掘り下げ改善策を見出し、より良い環境を構築していく。
11	就業環境の整備	代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	人事考課制度やキャリアパス制度を導入し、定期的な面談にて職員の意見を聞きながら、仕事に対するモチベーションが上がるよう支援をしている。また、労働時間の調整や有給休暇の取得など、働きやすい職場環境の構築に努めている。		<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	遣り甲斐を持って就労できる環境づくりや、多様な勤務形態にも対応できる職場環境の構築に向けて今後も取り組んでいく。
12	職員を育てる取り組み	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	毎月法人内事業所の管理者による会議を行い、職員個々の現状や課題について共有し対応を検討している。外国人労働者にも対応した、就業時の教育プログラムや資格取得支援も行っている。		<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	職員個々のスキルに応じた教育訓練を実施し、スキルアップが出来るよう取り組んでいく。
13	同業者との交流を通じた向上	代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input checked="" type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	地区 GH 協会の交流への参加等、他 GH との関わりを持てるように努めている。また、圏域での GH との情報交換にも努めている。			現状では限られたスタッフのみでの交流会等への参加となっている為、今後はより多くのスタッフが交流する事ができるようにしていきたい。

14	本人と共に過ごし 支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	グループホームは入居者が主体的に生活する場所と認識し、職員は共に生活しながらサポートしていく役割である事を明確にしている。			入居者個々の持ち味を理解し、それぞれに役割を持ち共同生活を楽しめるよう支援していく。
15	馴染みの人や場との 関係継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	面会や外出の制限も緩和し直接行き来できるようにもなり、知人や親族との交流、行きつけの美容院への外出支援などを行っている。	感染予防対策に留意しながら、様々な交流を図る事で、より豊かな人生にも繋がるのではないかと。		リモート等での交流(面会)では充実感を得る事ができない入居者も多く、実際に触れあえる事の大切さを実感しており、今後も触れ合いの機会を大切にしていきたい。

II. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

16	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、一日の過ごし方の希望や意向の把握に努めている。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日常の何気ない会話や生活状況の中で、御本人の気持ちに耳を傾け、意向に添った支援に努めている。ご家族等からの情報も参考にし、スタッフ間にて共有している。			今後も利用者の思いやニーズの変化などにも柔軟に対応できるよう取り組みたい。
17	チームでつくる介護計画とモニタリング	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人の状態を確認し、御本人や御家族の意向を取り入れながら計画を作成している。担当職員を中心に全職員で検討を重ねモニタリングも行っている。	毎月の職員ミーティングの中で、入居者の状態や意向について、職員全員で共有されている。ご家族からの情報や意向も聞き、主治医など医療関係者にも身体状況の相談確認しながら介護計画に反映されている。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日々のケアを行う職員や医療従事者、ご家族など、利用者本人と関わる全ての関係者の気づきや意見を取り入れられるようにしていく。
18	個別の記録と実践への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. ほとんどできていない D. ほとんどできていない	日々の様子を個別に記録し、気づきや変化、対応方法について具体的に記載している。全員で情報共有するとともに、ケアの実践や介護計画の見直しにも活かされている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	個別具体的に記録し情報共有できるようにしているが、記録が煩雑になっている側面もあり、記録方法や様式について、よりシンプルで分かりやすくする必要はある。
19	一人ひとりを支えるための事業所の多機能化	本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人の状況の変化に応じて、通院や買い物などへの外出に柔軟に対応している。重度化対応にも取り組み医療と連携しながら、最期までグループホームで過ごして頂けるよう支援している。	多様なニーズに対して柔軟な対応が取れるよう、日頃からのコミュニケーションや多職種連携体制を整えておく事が重要になる。		今後も利用者の様々な変化に対応できるよう、関係各所との連携や協力体制の構築等を行っていきたい。
20	地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	地域の学生による外国人との共生についての研究協力を行い、外国人労働者と入居者とのコミュニケーション	入居者が研究に協力する事により、研究が進み、課題解決に向けて取り組むことができおり、意義深い取り組みとなったのではないかと。		これからも多様な地域資源の発掘に努め、それぞれに意義のある協働の取り組みを行ってきたい。

				ン方法改善の方策について取り組む事ができた。			
21	かかりつけ医の受診支援	受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居の際に受診状況を確認し、今後の受診先を決めている。御本人や御家族の意向を伺い、信頼のできる医師との関わりを大切に考え支援している。			今後も御本人の変化を把握して医療との連携を図り、ご家族との相談も行いながら意向に沿った治療やケアが受けられるようにしていく。
22	入退院時の医療機関との協働	利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	医療機関へ入院した際には、相談員や医師、看護師との情報交換を密にし、ホームでの生活に早めに戻ることができるよう支援しており、その際には、主治医とも相談した上で対応方法を決めている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入退院時の医療機関との情報共有を行い、状況や環境の変化により入居者に影響を及ぼさないよう配慮していく。
23	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	重度化の指針を作成しており、利用契約時に重度化した場合や終末期のあり方について説明した上で意向を確認している。主治医や訪問看護などとの連携も密に図り支援している。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	施設入居の時点での意向を確認し、更に状態変化毎に意向を再確認している。また、状態変化に応じて御家族、医師との面談の場も設け対応している。
24	急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	急変時における対応マニュアルを用意している。普通救命講習を定期的に開催し、全職員が受講できるようにしている。また、個々の利用者の急変に備えた対応方法を主治医等に確認し実践できるようにしている。			定期的な対応方法の確認や、これまでの事例を振り返り慌てず確実に対応できるよう取り組んでいる。
25	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	法人内で災害委員会を開催し、災害に発生時に備え、BCP作成や定期的な訓練等を行っている。	定期的な訓練や組織内での備えは行われており、近隣事業所との協力体制は考えられているものの、町内会や近隣住民との連携等も検討しておくべきではないか。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	町内会への情報提供や協力体制の構築を働きかけ、災害発生時の地域の避難場所としても機能できるよう検討していく。
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援							
26	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人の今までの生活歴を把握し、利用者の尊厳の保持に努めながら、声掛けやケアの実践をしている。記録などは個人のプライバシーに関わる		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	認知症であってもひとりの人として尊重されるケアの実践に努めていく。入居者個々の癖や特徴を把握し、プライドや自尊を阻害しないようにしていく。

				記載事項もあり取り扱いには注意している。			
27	日々のその人らしい暮らし	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりの日常生活における希望や意向、暮らしのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	施設都合のペースにならないよう、利用者それぞれの1日の生活リズムを把握し、本人のペースで暮らしていただけるよう配慮している。			共同生活の中でそれぞれ快適な過ごし方が出来るよう、希望等を伺いスケジュール調整等を行っていく。
28	食事を楽しむことのできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者各々の嗜好や嚥下状態を把握し、調理法など配慮している。また、食事中の環境への配慮や、職員は一定の距離を保ちながら利用者と同じ食事を摂り、準備や後片づけも一緒に行っている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	食事の時間や提供場所等もその時々々の状況や希望に応じて対応している。準備や片付けも個々の出来る能力を活かせるよう配慮しながら行われている。
29	栄養摂取や水分確保の支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	献立は、外部の栄養士が作成したものを使用している。個々の摂取量を記録し、状態や体調変化に応じて形態や提供時間等を調整し支援している。必要カロリー摂取量に満たない場合、医師の指示に基づき経口栄養剤の提供等も行なっている。			献立の調理品を基本としているが、個々の好き嫌い等にも配慮しながら柔軟に対応できるようにしている。
30	口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎食後、うがいや歯磨き等の口腔ケアを促しや介助にて行い、個々の状態や能力に合わせた支援を行っている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	歯ブラシや口腔ケアスポンジ等、個々の状態に合わせた器具を用い清潔保持に努めるとともに、必要に応じ訪問歯科との連携を図り対応している。
31	排泄の自立支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者の排泄パターンを観察し、気持ちよく排泄を行うことができるようトイレでの排泄を基本に考え支援している。介助の際は羞恥心に配慮している。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	排泄介助については、羞恥心や自尊心への配慮の為に過剰な介入にならないよう注意している。また、便秘予防の為に適度な運動などにも配慮している。
32	入浴を楽しむことのできる支援	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人の希望を伺い入浴できるよう、毎日お風呂を用意している。利用者のプライバシーにも配慮し入浴を楽しんで頂けるよう努めている。			時間帯によっては職員の人員が手薄になる時間帯もある為、希望に沿う事ができない場面もあるが、了承頂けるよう説明を行うと共に人員配置の工夫など、対応に努めている。

33	安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々 の状況に応じて、休息したり、 安心して気持ちよく眠れるよう 支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	生活リズムやその時々 の状況に応じて、休息できるよ うにしている。寝付きにくい場 合には会話や、少量の食物や飲 料の提供等にて安心して入眠で きるよう支援している。			良眠に繋がれるよう、日々の心 身の状態や活動量など把握し、 医師などにも相談しながら安 易に薬に頼らず眠れるよう支 援している。
34	服薬支援	一人ひとりが使用している薬の 目的や副作用、用法や用量につ いて理解しており、服薬の支援 と症状の変化の確認に努めてい る	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	体調の変化があった場合は薬と の関係も意識し、薬情報で確認 している。また、利用者の処方 変更等があった場合には、申し 送り等を利用して周知し、状態 変化の記録を行っている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	受診記録や介護記録に薬の内 容変更などが記載され確認や 周知出来るようにしている。ま た、服薬時は複数の職員で毎 回確認し間違いのないよう取 り組んでいる。
35	役割、楽しみごとの 支援	張り合いや喜びのある日々を 過ごせるように、一人ひとりの 生活歴や力を活かした役割、嗜 好品、楽しみごと、気分転換 等の支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	個々の生活歴や趣味を把握し、 毎日の過ごし方に取り入れてい る。施設内の家事(洗濯たみ、 食事の準備、後片付け)や、菜 園への水やり等、利用者に応じ た役割を担ってもらえるよう 支援している	入居者の生活歴や持てる力を 活かす事ができるよう配慮され、 それぞれに活躍できる場面づ くりが行われている。		互いに役割や達成感を感じな がら日々の生活を送る事ができ るように今後も取り組んでいき たい。
36	日常的な外出支援	一人ひとりのその日の希望に そって、戸外に出かけられるよ う支援に努めている。また、普 段は行けないような場所でも、 本人の希望を把握し、家族や地 域の人々と協力しながら出かけ られるように支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	感染予防対策に伴う制限も緩和 し外出の機会は増加している。 近隣への散歩やショッピング、 家族との夕食等、支援している が、外出に対応できる人員が 不足する場面もあり、調整し ながら対応している。	これまで制限もあった分、外出 等の希望も多くなっているよう であり、施設側で全てを対応す るのも困難だと思われるので、 外部からの協力を仰ぐ事等を 検討できれば良いのではない か。		時間帯や場面によっては、外 出希望に応えられない時もあり、 スケジュール調整や人員配置 の工夫等を検討していく。
37	お金の所持や使う ことの支援	職員は、本人がお金を持つこと の大切さを理解しており、一人 ひとりの希望や力に応じて、お 金を所持したり使えるように 支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご希望に応じてご家族と相談 の上で、利用者自身で小遣いを 管理されている方もおり、買 い物の際に支払いを行えるよ う支援している。			安心して金銭を所持し使う事 ができるよう、希望に応じて一 緒に確認したり一時的に預り 対応している。
38	電話や手紙の支援	家族や大切な人に本人自らが 電話をしたり、手紙のやり取り ができるように支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	携帯電話を所持し自由に電話 をしたり、施設の電話も自由 に使用できるよう支援してい る。利用者の意向に応じご家 族等に手紙でのやり取りが できるよう支援している。			今後も希望に応じて自由に連 絡を取れるようにしていきたい。
39	居心地のよい共用 空間づくり	建物内部は一人ひとりの身体 機能やわかる力を活かして、安 全かつできるだけ自立した生 活が送れるように工夫してい る。共用の空間が、利用者にと って不快や混乱をまねくような 刺激がないように配慮し、生 活感や季節感を採り入れて、一	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者の身体機能に合わせた 椅子やクッションを使い、リビ ングには入居者と職員が一緒 に作った装飾品を季節毎に飾 っている。自然な明るさや動 線の確保、適度な生活音や人		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	リビングにキッチンが隣接し ており、美味しそうな臭い等 も感じられるようになっている。 安全に移動できるよう整理整 頓に努めている。

		人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている		の気配などを感じて頂きながら快適な空間となるよう工夫をしている。			
IV. 本人暮らしの状況把握・確認項目（利用者一人ひとりの確認項目）							
40	本人主体の暮らし	本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができています	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日常の何気ない会話や生活状況の中で、御本人の気持ちに耳を傾け、意向に添った支援ができるよう努めている。			日頃からこまめにコミュニケーションを図り、思いに寄り添った対応を心がけていく。
41		本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができています	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	基本情報や生活歴を基に出来ること・好きなこと・得意なこと等を把握し主体的に行えるよう支援をしている。			御本人を取り巻く関係者からの情報も参考にしながらより良いケアに繋がれるよう努めていく。
42		本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができています	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎日の申し送りにて日々の状況を共有し、適切なケアや治療に繋がるよう支援している。また、事故防止と自立の両面から、生活環境への配慮がされている		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居者自身の「できる事」への配慮と共に事故防止にも注意していく。心身の状態観察や確認を行い、主治医や訪問看護等との連携を図りながらケアを行っている。
43	生活の継続性	本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができています	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご本人の希望や要望を伺い希望に沿えるよう努めている。ご自分で伝えることが出来ない方は、生活歴などからくみ取るよう努めている。利用者の方々のその日、その瞬間を大切に考え支援している。			個々の習慣や嗜好などを把握しながら、楽しんで日々の生活を送る事ができるよう支援していきたい。
44		本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近(自室等)に持つことができています	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	居室はご本人の自宅であるとの認識で、入居の際には特に愛用していた物や思い出のある物を持ってきて頂けるよう説明している。入居後も本人の状態や意向に応じて居心地の良い居室となるよう配慮している。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	馴染みの物や大切にしているものを所持する事で、安心感や昔を懐かしむきっかけなどにもなっている。
45		本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催(祭)事に参加することができています	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	御本人の希望に応じて一時帰宅や家族や知人との外出等、楽しむことができるよう支援している。	制限を緩和し、外出や催事への参加も出来るようにしながら、帰館時の検温や体調確認等の対応も行われている。		

46		本人は、自分ができること・できないこと、わかること・わからないことを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	個々の習慣やADL等を把握し、毎日の過ごし方に取り入れている。困難になってきた場合であっても、少しでも楽しめるよう職員が共に行い楽しむ事が出来るよう支援している。			今後も様々な活動などを行いながら、ご本人に自由に選択できるよう支援していきたい。
47	本人が持つ力の活用	本人は、自分がいきいきと過ごす会話のひと時や、活動場面を日々の暮らしの中で得ることができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	馴染みの入居者やスタッフと談笑したり、入居者それぞれに担っている役割に沿って活動して頂くことで、いきいきと過ごす事が出来るよう支援している。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	必要に応じて職員がコミュニケーションの仲介等を行いながら良好な関係を構築できるよう支援している。
48		本人は、自分なりに近隣や地域の人々と関わったり、交流することができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. ③あまりできていない D. ほとんどできていない	散歩の際に近隣住民と挨拶を交わし、庭先に咲いている花を分けてもらっていた。また、通院時には待合室で仲良くなった方と談笑したりしながら交流している様子があった。	入居者が様々な事や人に興味を持ち、行動できるよう支援できれば、交流も広がり良い刺激にもなるのではないかと。		ADLの低下等により、重度化しても安全に楽しみながら交流活動を継続できるような支援方法も検討していく。
49	総合	本人は、このGHにいて、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくることができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. ③あまりできていない D. ほとんどできていない	グループホームで生活する中で、役割を担い、充実感や達成感を感じて頂きながら、健康で安全に生活できるよう、職員間、他職種との連携を深めながら、より良いケアに努めている。最期まで自分らしく過ごせるよう送れるよう支援していきたい。	グループホームで生活する事により、ご自身でできない部分のサポートを受ける事もでき、安心をもたらす事が出来ているのではないかと。常に入居者の心に寄り添ったケアを心掛けてほしい。	A. 十分にできている B. ③ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	心身の機能が低下しても、認知機能が低下しても、住み慣れた地域での生活が継続できるよう、これからも支援していきたい。その為にも当施設の事を地域に広く認識して頂き、地域の一人として協力しながら活動できるよう積極的に発信していく。

(参考様式4)

事業所名 グループホーム青空倶楽部 筒井館

目標達成計画

作成日: 令和 6 年 3 月 28 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	36	外出希望に対して、時間帯や場面によっては応えられない事もあり、入居者を待たせてしまう。	入居者が制限なく自由に外出や出入りすることができる。	外出する時間帯に対応できるよう、1日の業務スケジュールを見直していく。また、スタッフの人員配置の工夫や御家族や地域、ボランティア活用など協力者も募りながら全体で支援していく。	6ヶ月
2	9	介護計画作成時など、定期的に入居者や御家族からの意見や要望を頂けるよう努めているが、対話の機会も限られておりコミュニケーションを深めていきたい。	普段から気兼ねなく意見や要望を表出しながら話し合える関係性を構築できる。	現状把握の為、入居者や御家族への満足度調査(アンケート)を実施し、課題や改善点を明確化し具体的な取り組みへと繋げていく。	6ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。